



2018 年度 弥生時代講座

聞いてなっとく 弥生の世界

遺跡・遺物からみた弥生時代研究

8 月 18 日 (土) 「器台からみる弥生後期の社会」

山中良平 (赤穂市教育委員会 学芸員)

弥生時代後期には日本各地で地域色豊かな土器が作られました。土器を載せる台である「器台」もその1つです。発表ではこの「器台」に注目し、その地域性が意味するものに迫ります。

10 月 27 日 (土) 「鉄製武器からみた弥生社会」

ジョセフ・ライアン Joseph Ryan (岡山大学 特別研究員)

鉄製武器が現れた弥生時代。鉄製武器は対外交流や地域間関係など移り変わっていく弥生社会を考える上で重要な材料です。今回は鉄製武器の生産と流通の様々な問題に迫ります。

12 月 15 日 (土) 「楽浪と弥生文化」

長友朋子 (立命館大学 教授)

漢代に楽浪郡が設置されると、楽浪を介して日本列島とも交流が行われるようになります。なぜ漢は倭と交流をするのか。倭にとって楽浪を介した交流の意義とは何か。食器と案^{あん}という饗膳具から、交流の実態に迫りたいと思います。

2019 年

2 月 2 日 (土) 「持ち込まれた土器・持ち運ばれた土器—弥生時代の交流拠点—」

桐井理揮 (公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター 調査員)

弥生時代の終わりごろは、全国的にモノの動きが活発となった時代でした。各地には交流の拠点となった遺跡群が現れます。その中でも持ち込まれた土器の様相から、当時の交流について考えます。

※全4回受講された方には「講座修了証」と「記念品」をさしあげます。

場 所：弥生文化博物館 1 階ホール

時 間：いずれも 14:00 ~ 16:00
(13:30 から受付)

定 員：170 名
(当日先着順 開館時より整理券配付)

対 象：大学学部生・一般市民向け

受講料：無料 (ただし入館料が必要)

専弥呼と出会う博物館



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

(指定管理：公益財団法人 大阪府文化財センター)

大阪府和泉市池上町 4-8-27 TEL.0725-46-2162
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

ACCESS



JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約 600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約 1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR 天王寺駅から和歌山方面行 (阪和線) 快速電車にご乗車になり、鳳 (おどり) 駅で普通電車にお乗換えください。
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。
鳳から3駅目が信太山 (しのたやま) 駅です。



国道 26 号「池上町」交差点南西角
P 普通車 72 台 (無料)

